

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2019-185137 (P2019-185137A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-043
 【出願番号】特願 2018-71140 (P2018-71140)
 【国際特許分類】

G 0 6 K 9/03 (2006.01)

G 0 6 K 9/20 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 9/03 Z

G 0 6 K 9/20 3 4 0 K

G 0 6 K 9/20 3 4 0 C

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 6 月 30 日 (2020.6.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数の文書画像を文字認識処理した結果に基づいて予め記録され、文書画像の種別毎かつ特定項目毎に前記項目の文字列の特徴を示す第一特徴量のうち、文字認識対象の文書画像についての前記第一特徴量を選択する第一特徴量選択部と、

前記文字認識対象の前記文書画像の文字認識処理を行う文字認識処理部と、

前記文字認識処理の結果の文字列のうち前記第一特徴量に対応する特定項目の文字列を選択する文字列選択部と、

前記文字列選択部が前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択しなかった場合、事前入力された文字列と前記特定項目の文字列とが一致するか否かの判定結果を取得する判定結果取得部と、

を備える画像処理装置。

【請求項 2】

前記第一特徴量選択部は、前記文書画像中での前記特定項目の文字列の位置を示す前記第一特徴量を選択し、

前記判定結果取得部は、前記特定項目の文字列の位置を示した前記文書画像と、前記事前入力された文字列とをユーザに提示して、前記文書画像に示される前記特定項目の文字列と前記事前入力された文字列とが一致するか否かの前記判定結果を取得する

請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記文字列選択部が前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択せず、かつ、前記事前入力された文字列と前記特定項目の文字列とが一致することが前記判定結果によって示された場合、前記文字認識処理の前記結果の文字列の中から前記特定項目の文字列を選択するための情報を取得する機械学習に、前記事前入力された文字列を用いる機械学習部をさらに備える、

請求項 1 または請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記機械学習部は、前記文字列選択部が前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れかを前記特定項目の文字列として選択した場合、および、前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択しなかった場合の何れも前記機械学習を行う、

請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記機械学習部は、前記文字列選択部が前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択しなかった場合に前記機械学習を行い、前記文字列選択部が前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れかを前記特定項目の文字列として選択した場合は前記機械学習の実行を抑制する、

請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

複数の文書画像を文字認識処理した結果に基づいて予め記録され、文書画像の種別毎かつ特定項目毎に前記項目の文字列の特徴を示す第一特徴量のうち、文字認識対象の文書画像についての前記第一特徴量を選択し、

前記文字認識対象の前記文書画像の文字認識処理を行い、

前記文字認識処理の結果の文字列のうち前記第一特徴量に対応する特定項目の文字列を選択し、

前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択しなかった場合、事前入力された文字列と前記特定項目の文字列とが一致するか否かの判定結果を取得する、

画像処理方法。

【請求項 7】

コンピュータに、

複数の文書画像を文字認識処理した結果に基づいて予め記録され、文書画像の種別毎かつ特定項目毎に前記項目の文字列の特徴を示す第一特徴量のうち、文字認識対象の文書画像についての前記第一特徴量を選択し、

前記文字認識対象の前記文書画像の文字認識処理を行い、

前記文字認識処理の結果の文字列のうち前記第一特徴量に対応する特定項目の文字列を選択し、

前記文字認識処理の前記結果の文字列のうちの何れも前記特定項目の文字列として選択しなかった場合、事前入力された文字列と前記特定項目の文字列とが一致するか否かの判定結果を取得する、

処理を実行させるためのプログラム。